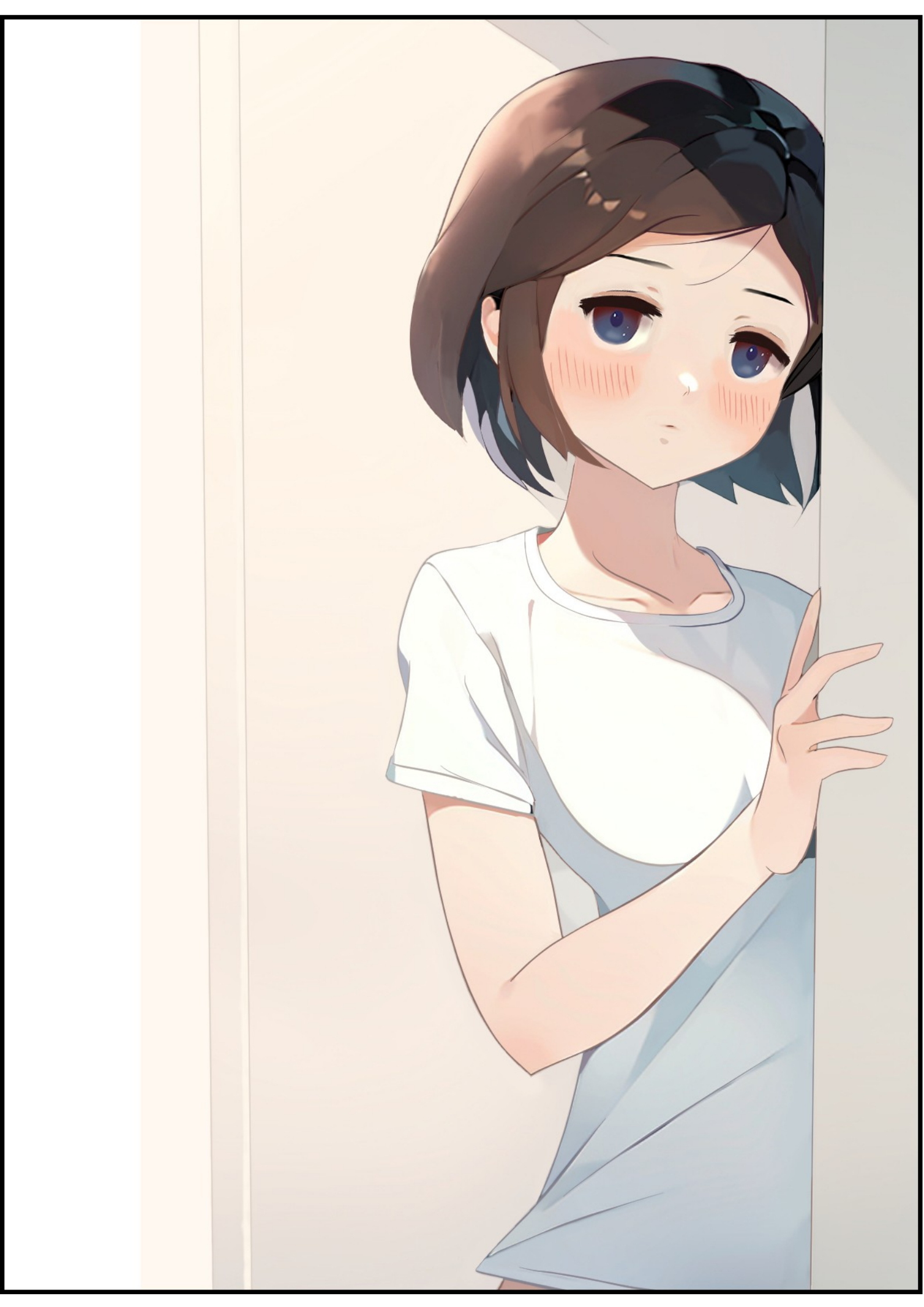
友情崩壊
抜け駆け家デート～
即処女ロス
アイツら俺の知らない間にこんな事を…



あの日ー

俺たちがまだ少年と少女だった夏休みー

小さい頃から
俺たちはよく一緒に
近所で遊んでいた

幼馴染で
地元の遊び仲間

牛込

牛込(うしごめ)も
その一人

俺(ゆーいち)より
少し年上で
お調子者

…まーコイツは
どうでもよくて

あっ
ゆーいちくん！
そしてもう一人はー
ユミ

ふぅ～ん
また偶然を装って
私に会いにきたのねー？
ち、ちげーよ！
これから
塾に行く途中だっての！
ユミ
俺より年下で
いつも俺に懐いてた
ちょっと芋っぽい
ところもあるけど
そこがかわいい
…というか

俺たちまだ
ガキのつもりだった
ユミ…
それが
いつの間に
こんなに
成長して
ついアイツの
胸の膨らみに
目が…
何考えてんだ
俺…
いや

あー
ゆーいちくん
また私の胸
チラ見してるー？
やらしー
へんたーい
な⁉
そ、そんなワケ…！
ヤバい！バレてる…⁉
ふーん
ゆーいちくんも
やっぱりそーなんだ
男の子は女子のおっぱいが
気になって
しょーがないんでしょ？
もー見え見えなんだから（笑）
クス
クス

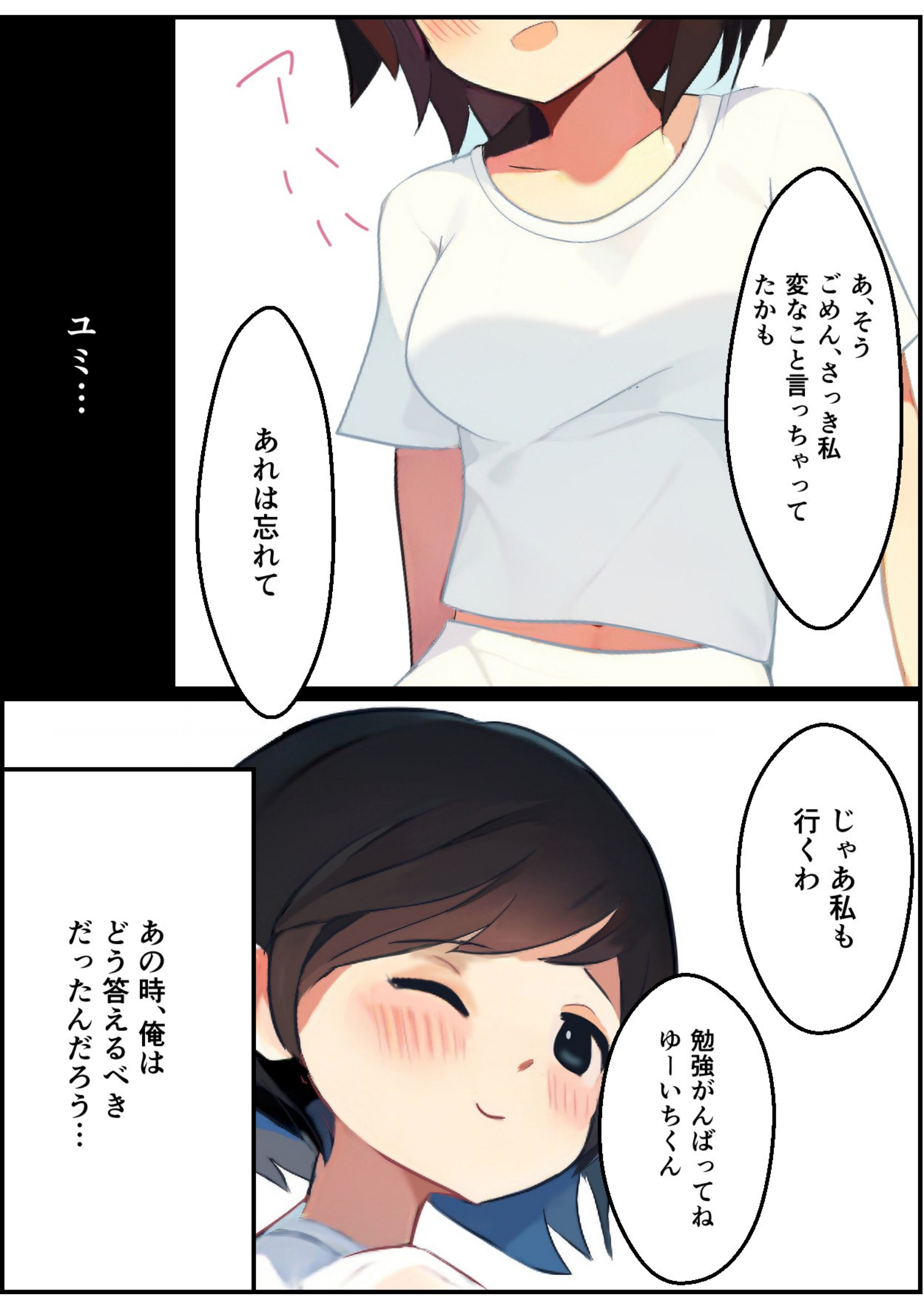
じゃあさ、試しに
私のおっぱい見せて
あげよっか？
へ？
（…お、おい）

ぎゃはっ
ははっ
ジョーダン！
見せるわけ
ないじゃん
まさか、
本気にした？
バ、バカ
からかいやがって…
（不覚にも…少し
期待してしまった…）
ゴクリ…

ねー、ゆーいちくん…
私のこと…
どう思ってる？
え？
私ね…ゆーいちくん
がその気なら…
ゆーいちくんになら…
…特別に……てもいいけど
ユミ？それは…
どういう……

おーい
お前ら
また二人で
つるんで
やがんなー？
あ、
牛込くん
全くおまえら
仲良いなー
ひょっとして
付き合って
んじゃねーか？
う、牛込！
じ、冗談言うなよ
オイオイ
コイツ…
変なタイミングで
割り込んできやがって

まーオレも
別のダチができて
ここ最近お前らと
つるんでないから
文句言えた義理じゃ
ねーけど
たまには俺も
仲間外れにせずに
混ぜてくれよな
でないとオレも
すねちまうぜ？（笑）
あはは…
そ、そうだね
前みたいに
三人で…
ああ。
じゃあな
ゆーいち
ユミ
またな
牛込
また
一緒に
遊ぼうね
牛込くん


あ、そう
ごめん、さっき私
変なこと言っちゃって
たかも
あれは忘れて
ユミ…
じゃあ私も
行くわ
勉強がんばってね
ゆーいちくん
あの時、俺は
どう答えるべき
だったんだろう…

何かを変えられていたら…

シャー
シャー
アアア

ゆーいちくん
絶対私のこと
エロい目で見てた

でも…全然
それはいいの
私だって…エッチなことに
興味ある

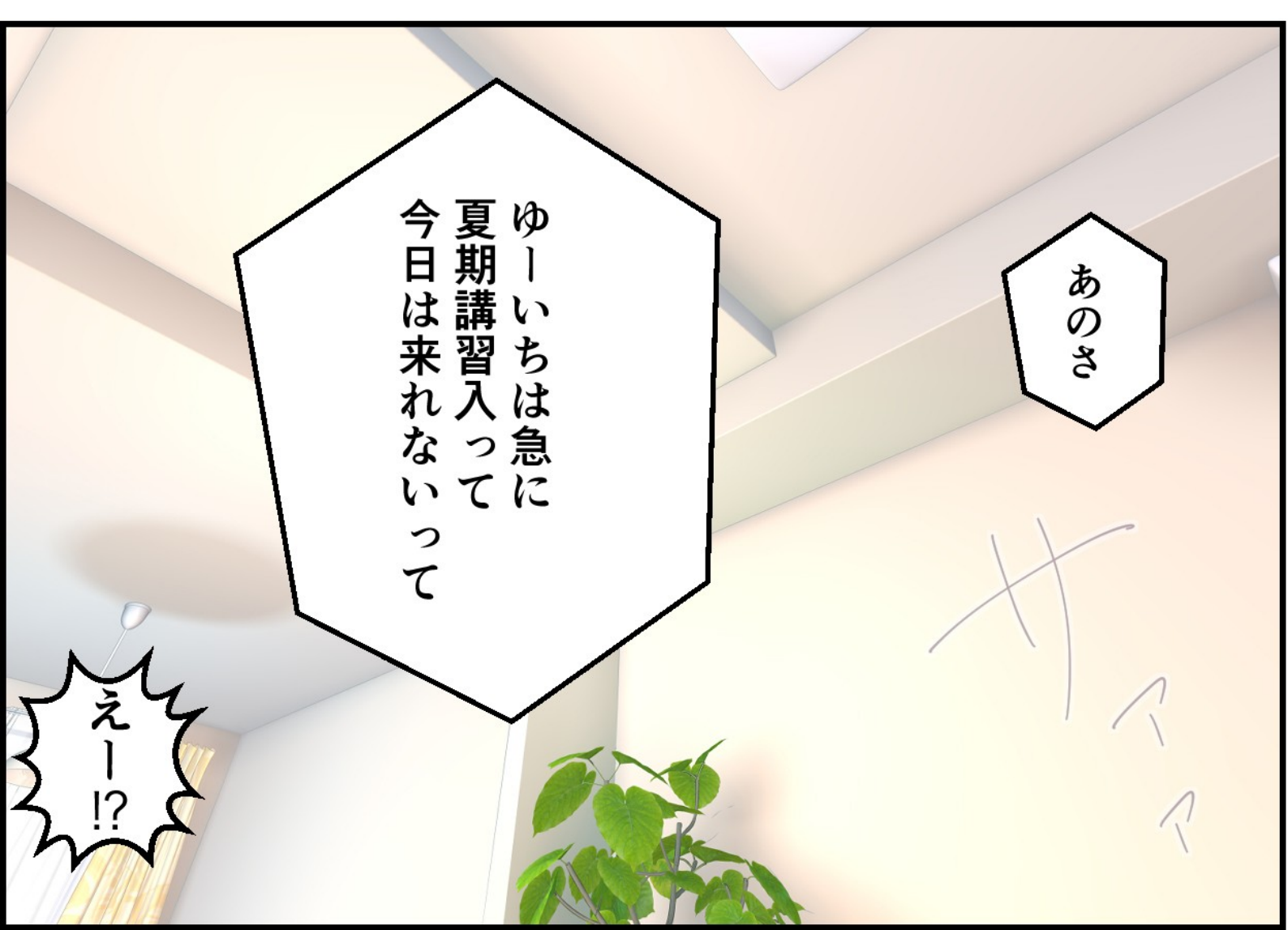
こうやっていつも
自分を慰めてる

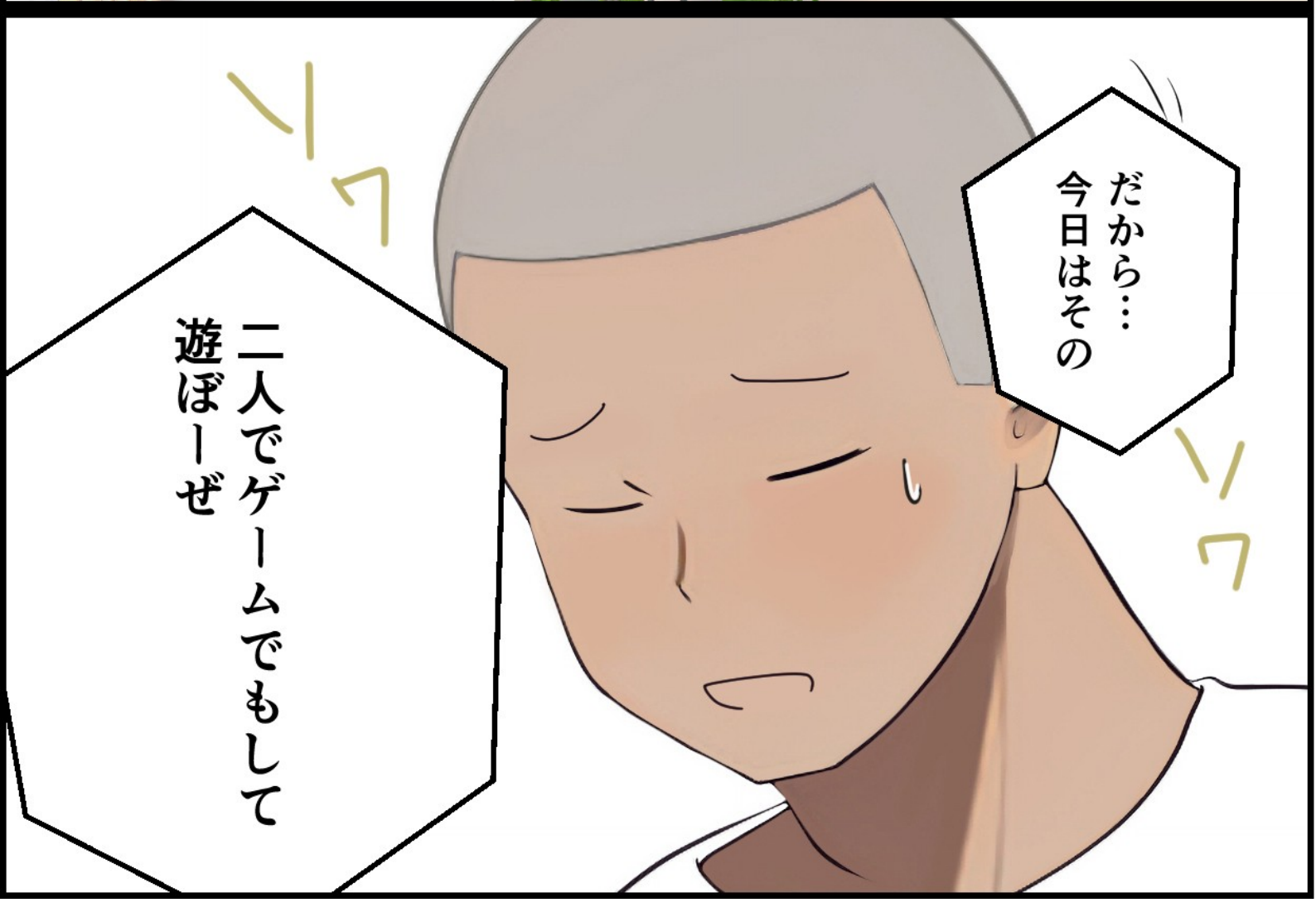
ゆーいちくん…　私としてくれないかなあ

久しぶりにまた
幼馴染三人で会うことになった
牛込くんの部屋で…

まーゆっくりしてけよ
今日は家族誰もいないから
ガチャ
なんか飲み物持ってくるわ
わーありがとうお邪魔しまーす

牛込くんの部屋
キレイだよね～
なんかいい意味で
男の子の部屋っぽくなくて
今日はお前が
来るから急いで片付け
たんだよ！
普段はもっときたねーし
昔ここでオレらと
ゆーいちで
よく遊んでたよな
なつかしー
思い出すなー
…あれ
ゆーいちくんは？


あのさ
ゆーいちは急に
夏期講習入って
今日は来れないって
えー!?


だから…
今日はその
二人でゲームでもして
遊ぼーぜ

…ダメ、か？

しょーがないね

あっそーなんだ

ふーん

ゆーいちくん
勉強大変そうだし

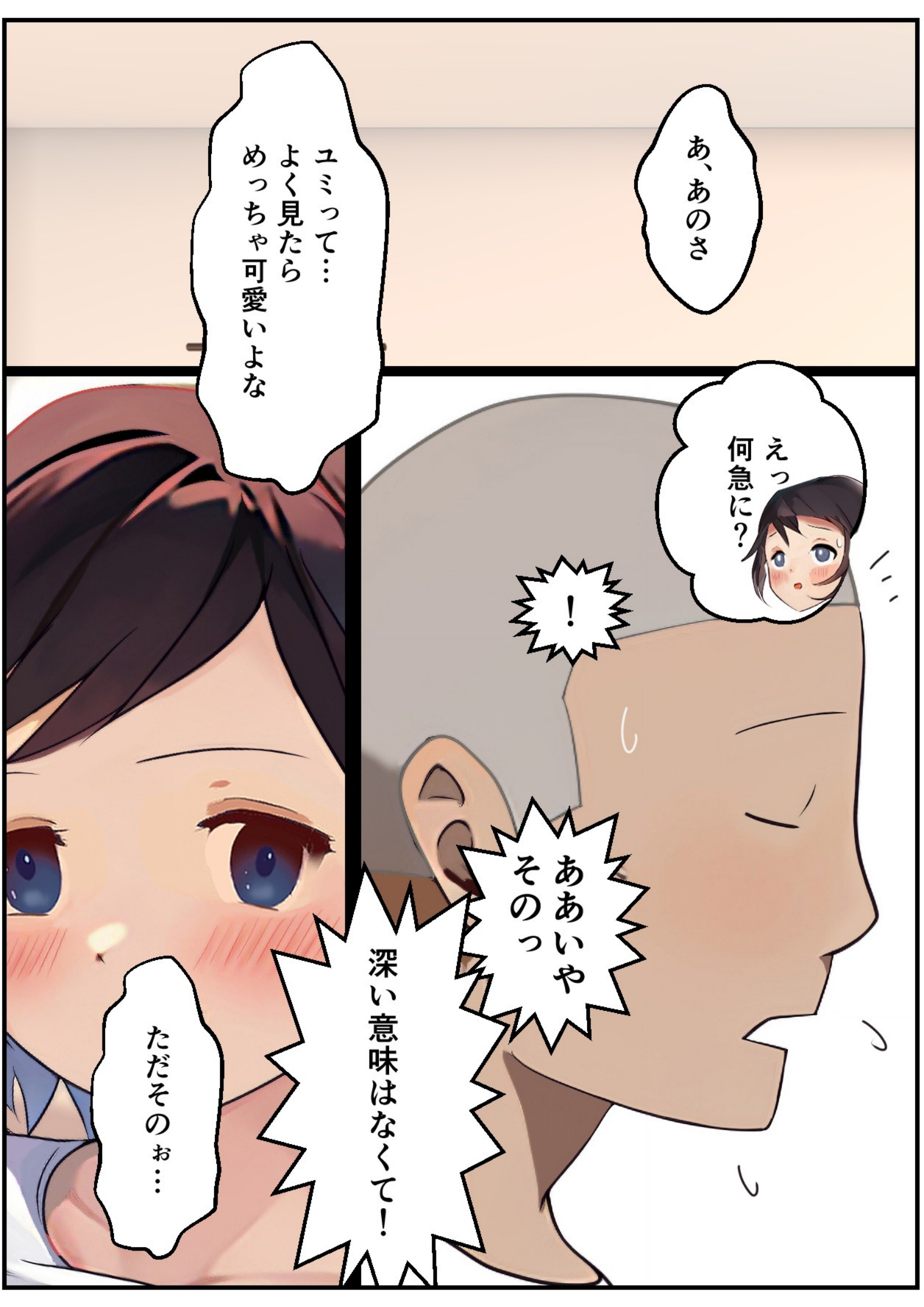
私は全然
別にいいよ

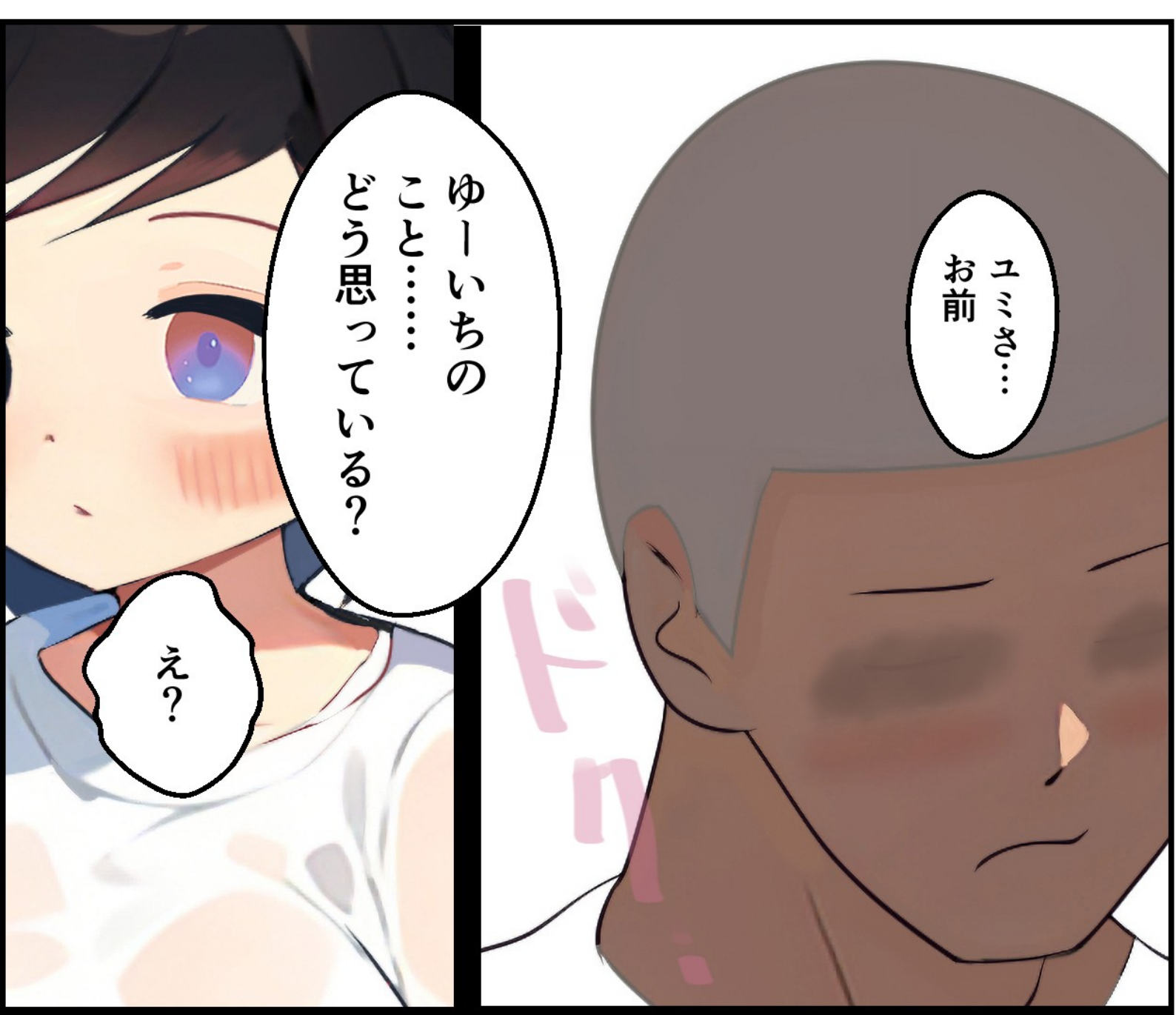
（…よしっ！）

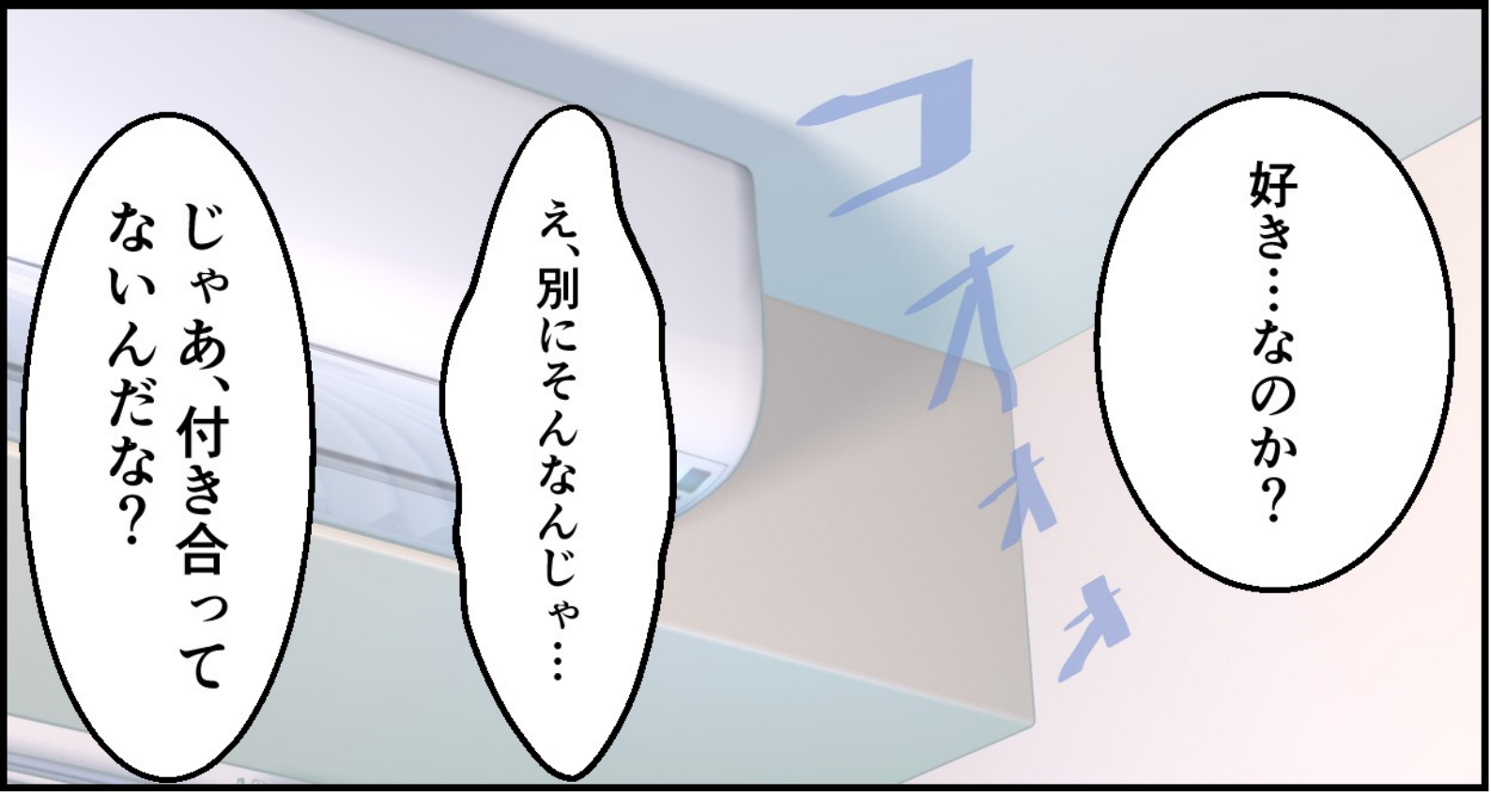
そして…

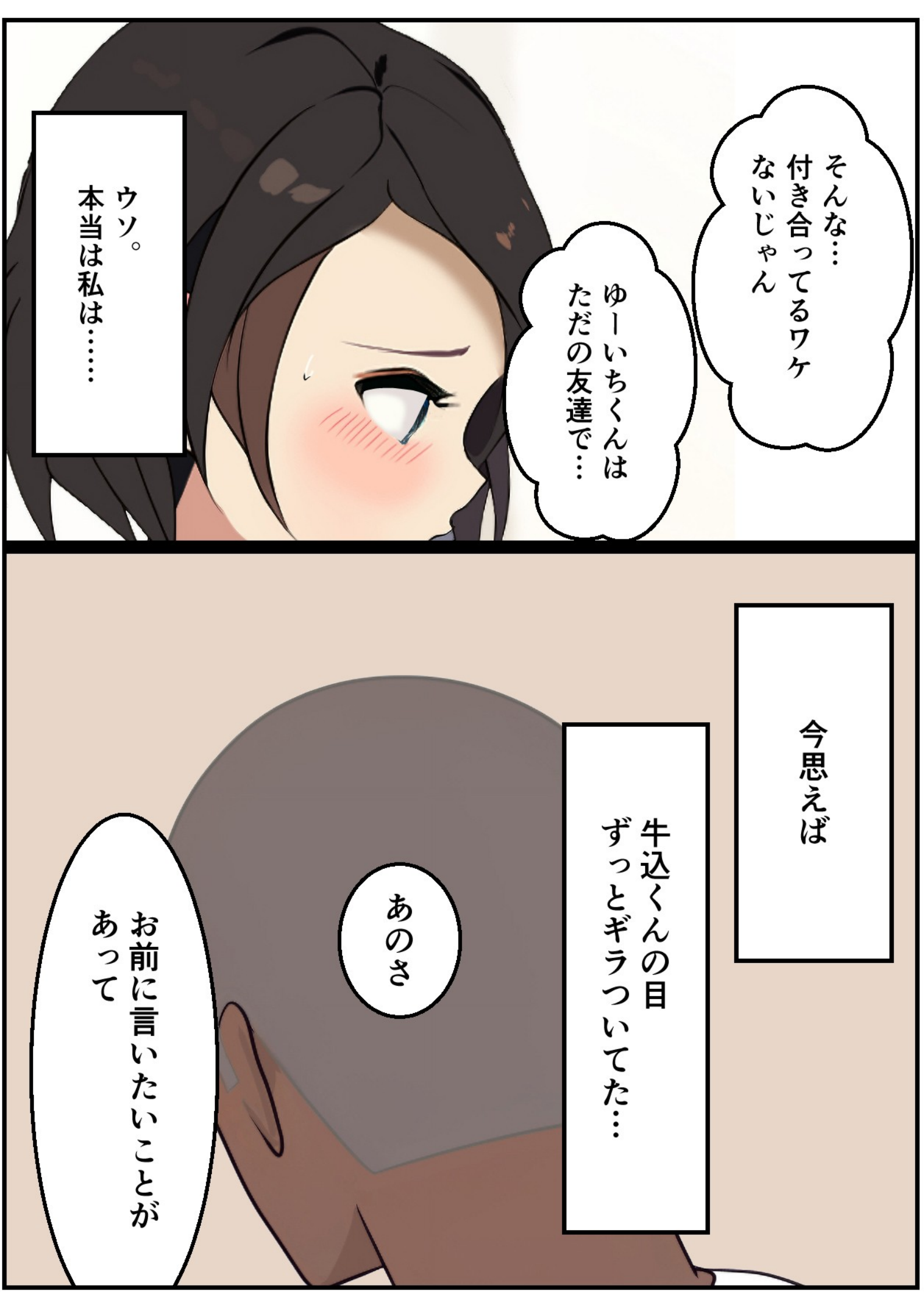
あー
面白かった！

ゆーいちくんも
いたらもっと
楽しかったのに
ね、牛込くん？
ゴクリ…
…牛込くん？
……
ハーハー


あ、あのさ
ユミって…
よく見たら
めっちゃ可愛いよな
えっ
何急に？
！
ああいや
そのっ
深い意味はなくて！
ただそのぉ…


ユミさ…
お前
ゆーいちの
こと……
どう思っている？
え？
ドクン


好き…なのか？
え、別にそんなんじゃ…
じゃあ、付き合ってないんだな？
フォォォ


そんな…
付き合ってるワケ
ないじゃん
ゆーいちくんは
ただの友達で…
ウソ。
本当は私は……
今思えば
牛込くんの目
ずっとギラついてた…
あのさ
お前に言いたいことが
あって

牛込くん…？

お前はどうなんだ？
…ユミ？
……
わ、私も…
牛込くんのこと、
…好きだよ
マジ⁉
よっしゃあ‼
オレたち
相思相愛じゃん
思い切って
コクってよかった～

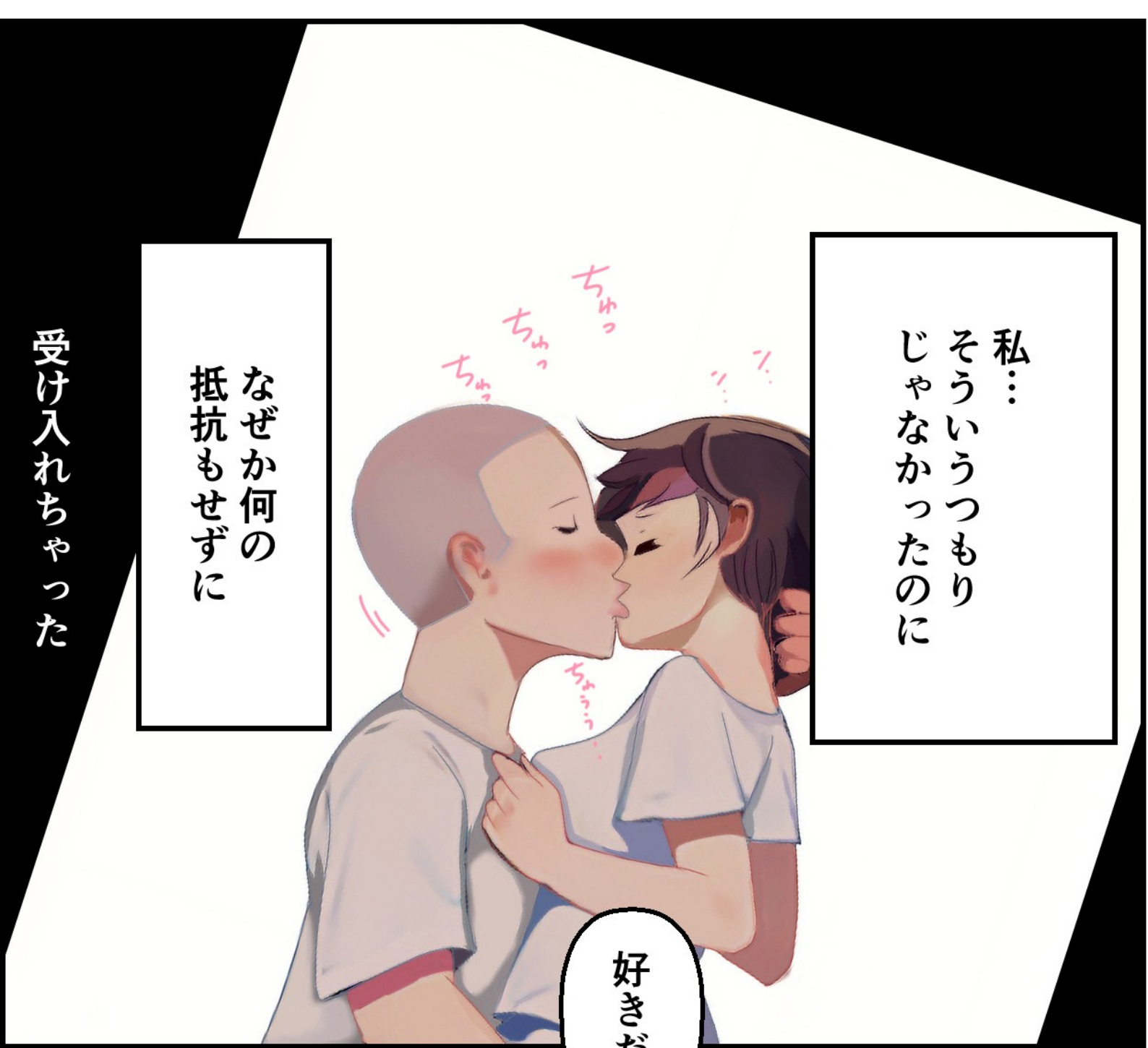
オレはこの時を待ち望んでた…ッ！

流されちゃった…

私…
そういうつもり
じゃなかったのに

なぜか何の
抵抗もせずに

受け入れちゃった




好きだ

ユミ…オレ
おまえのこと
もっと知りたい

はぁっ

はじめてなんだろ？
おまえも

だ、だめだよ
これ以上は……！

ドクン

なんで？
お互い好きなんだろ？

ドクン

だったらこーゆーの
フツーじゃん

ドクン

で、でも
まだ早いと思うし……！

ドクン

オレのまわりは
もうみんなやってるよ

オレたちも
そろそろガキを
卒業しよーぜ

せっかくだし
この機会に一通り
経験しちまおう

な、いいだろ…？

…う、うん…

なんで…あんなこと
言っちゃったんだろう…

なんで…あんなに
ガード緩めちゃったんだろう…

そして
そこから先は…

やっぱりー　そうなるよね

その相手は
おっぱい
みせて
ゆーいちくん
じゃない
うおっお前の乳
めっちゃ
きれいだなw
予想通り
オレの好み
カタチだw

写真撮ろーぜ
オレたちの初体験の
記念にさ
すごくイイよ～思春期の
この時期にしか撮れない
ハダカだからマジ貴重
大丈夫だって
誰にも見せないから
（あとでダチに見せて
自慢したろw）
は、恥ずかしいよ…
カシャー
カシャー
カシャ
カシャー
カシャー

（まだ早いとか
言ってたけど、
全然十分だよな）
（こんだけ
たわわに実ってりゃ
余裕で食えるわw）
へへ…
（私…
何やってんだろ）

ずっと触って
見たかったんだよなあ
おまえのおっぱいの
膨らみ
前から気になって
いたんだよね
感慨深えよ
今こうやって
たっぷり
揉めるなんて

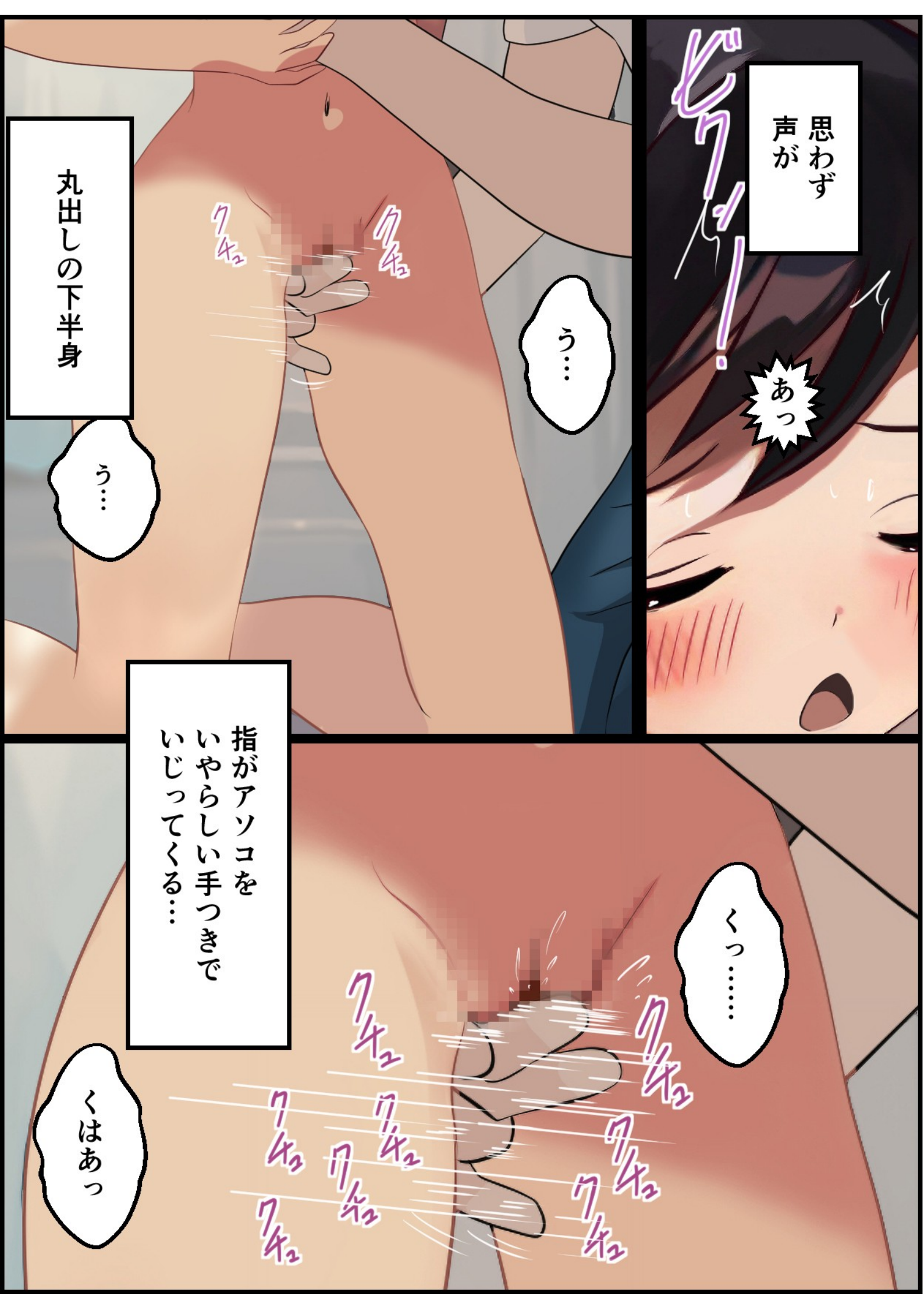
そして服をすべて
脱がされた

そこから
時間をかけて
胸をいっぱい
さわられた

あの陽気で
気さくな
お兄ちゃん
みたいだった
牛込君が

まるで人が
変わった
みたいに

激しく乳首に
むしゃぶりついてくる
何度も何度も
強く吸われて
舌で舐めまわされて
乳首がピンピン
立ってしまった


思わず
声が
ビクン！
あっ
丸出しの下半身
う…
う…
指がアソコを
いやらしい手つきで
いじってくる…
くっ……
くはあっ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ

でも私…
ずっとこういうこと
されてみたかった
んじゃなかったの？
あ…
あ…
ズズズズ
レロレロ
内心自分が
望んでいたことをされて
うれしいんじゃないの？

だから、なんのためらいもなく
こんなことまで…
本当に…これをしゃぶるの……？
はー
はー
まずはゆっくり舌で
撫でるように
チンポ舐めてみて
ソロ…
大丈夫
みんなやってるから

ペロ…

レロ
レロ
レロ

そーそー
うまいじゃん
ゆっくり口に含んで
唾液出して動かして
ジュブ
ジュブ
あー…イイ！
マジ気持ちいい

スゲーよ
ユミ
初めてなのに
こんなに
口にいっぱいに
ほおばって
ヤベ…
コイツ
男を喜ばせる
才能あるわ
舌使いが
エロすぎる
天才か？

すげー綺麗だよな
ユミのおまんこ
うまそー
やべえマジ期待感
しかねえ
ジュル…
これからコイツに
俺のチンポを
突っこむのか
……！
あ、あんまりじっくり
見ないで…

じゃあ
ひとまず
舐めてみよ
あっ
ああっ
ぐぐ
どうだ
気持ちいいか？
お前も
結構なスケベだよなw

男の子のアレが…

入っていく
い、いっ…
奥のほうまで
あ！
あッ！

グブブ…
こじ開けられる
アソコが

容赦なく
突っ込んでくる

こうなることは
目に見えてた…はず
男の子の部屋で
二人きりになったら

あっ
あん！
あっ
あん！
帰るべき
だったんだ
ゆーいちくんが
来ない時点で
グジョッ
グジョッ

牛込くんは
子供っぽい私なんかに

性的な感情
持つわけないって

私が甘かったのかな…
ゆーいちくん…
ズブブブブ
あ、あっ
あ

バラしちまうけどさあ
実はゆーいちの事…最初から呼んでないんだよね
えっ
おまえと二人きりになりたかったからウソついたんだ

オラッ
オラッ
ギシ
ギシ
ギシ
成り行きで
こうなったように
みせかけて
本当はお前とセックス
するつもり
マンマンだったんだ
はじめから
計画してたッ！
いやっ
いやっ
ダメ

ユミは流されやすい
性格だから
強引に押せば
絶対イケるって踏んでた
ズーー！
こんなに喘ぎやがって…
やっぱりお前も
まんざらでもなかっただろ（笑）
あああっ
ああん！

こいつは天性の
好きモンだわ…！
こんだけやりたい放題
やられても
拒まないってことは
そーいうことだよな（笑）！

（そっか…
やっぱ私
嵌められたのね…）
（でももう…そんなこと
だんだん
どうでもよくなって…）

最高のおまんこだ！
スパン
今思いっきりマウント
全力フル勃起でピストン
グッチョングッチョン
突入してるよ
スパン
スパン
スパン
スパン
デビューしたての
旬のおめこに
ぎゅ～ぎゅ～
根本まで
シゴかれ
チンコが喜びに
震えてるよ‼
スパン

だめ…
イヤ……
やめて…
あれ……？ちがう…
そうだ…
そうだよ…！
もっとやって…！

うおおっっ
きっっ！
もっとして…
もっと…もっと…
チンポにこの刺激！
電流が走るみてーだ！

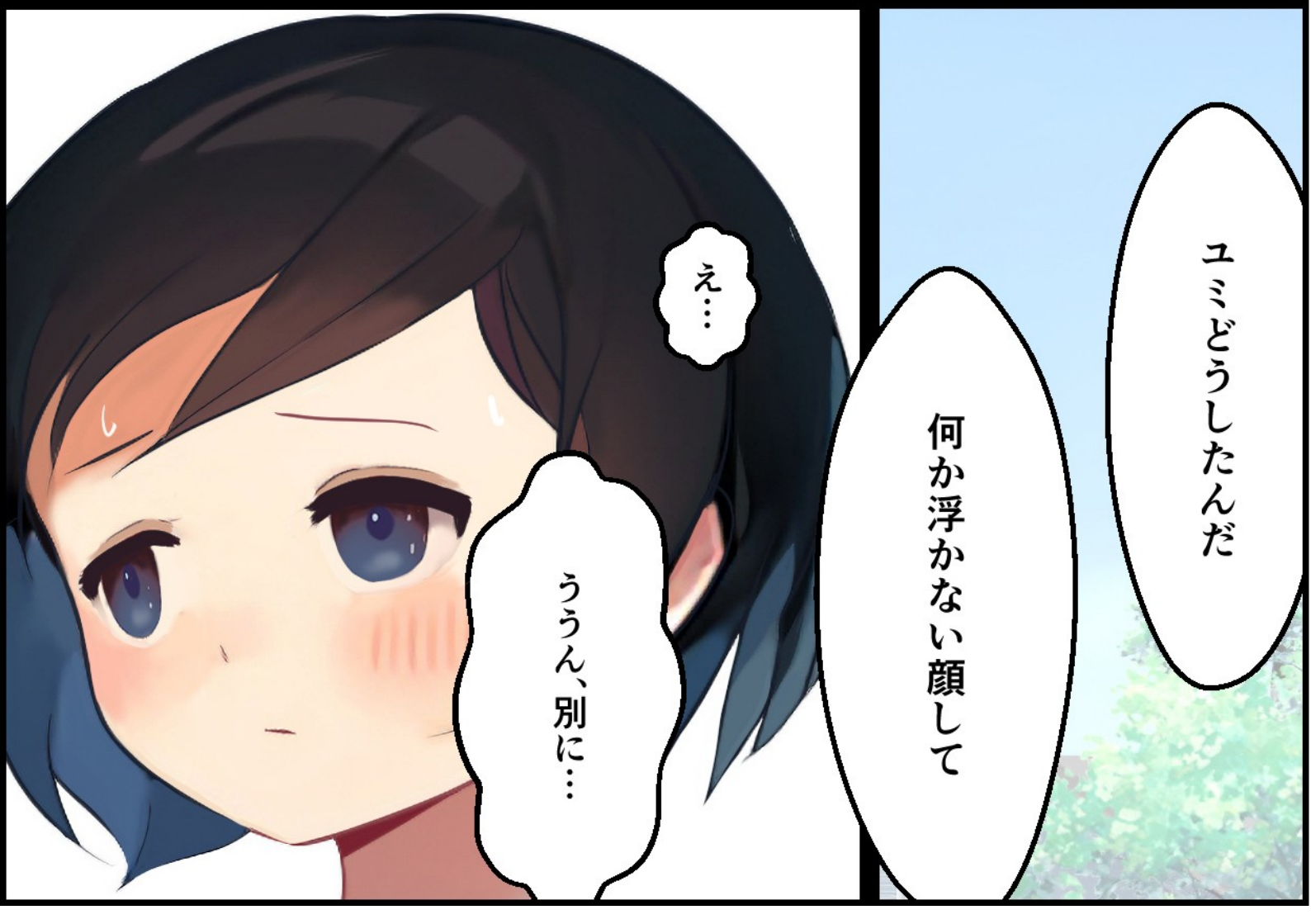
イくぞっ！
イくっ！
イくぞ
オラあッ！
あああああっ！

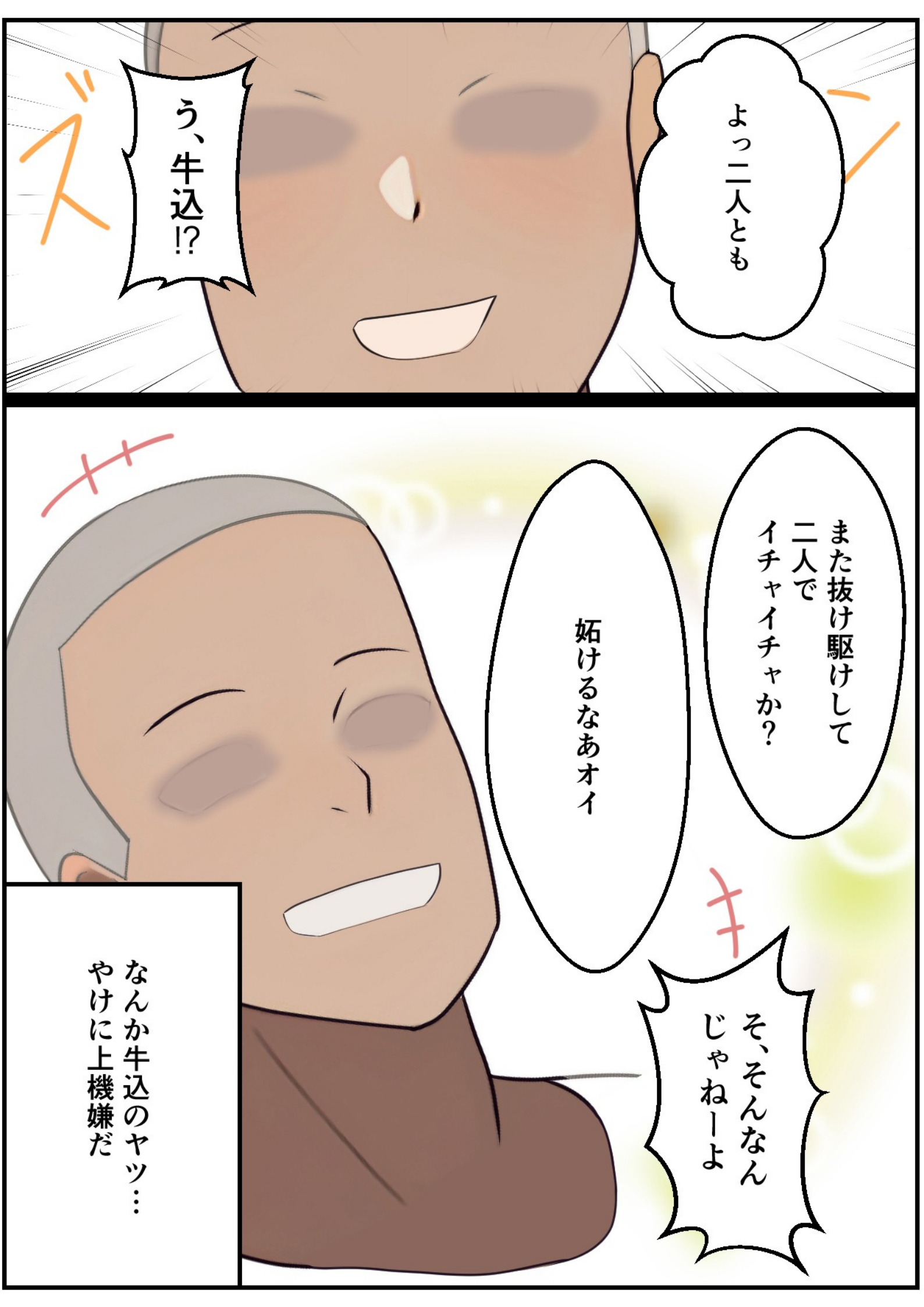
ドクン
ドクン
ドクン

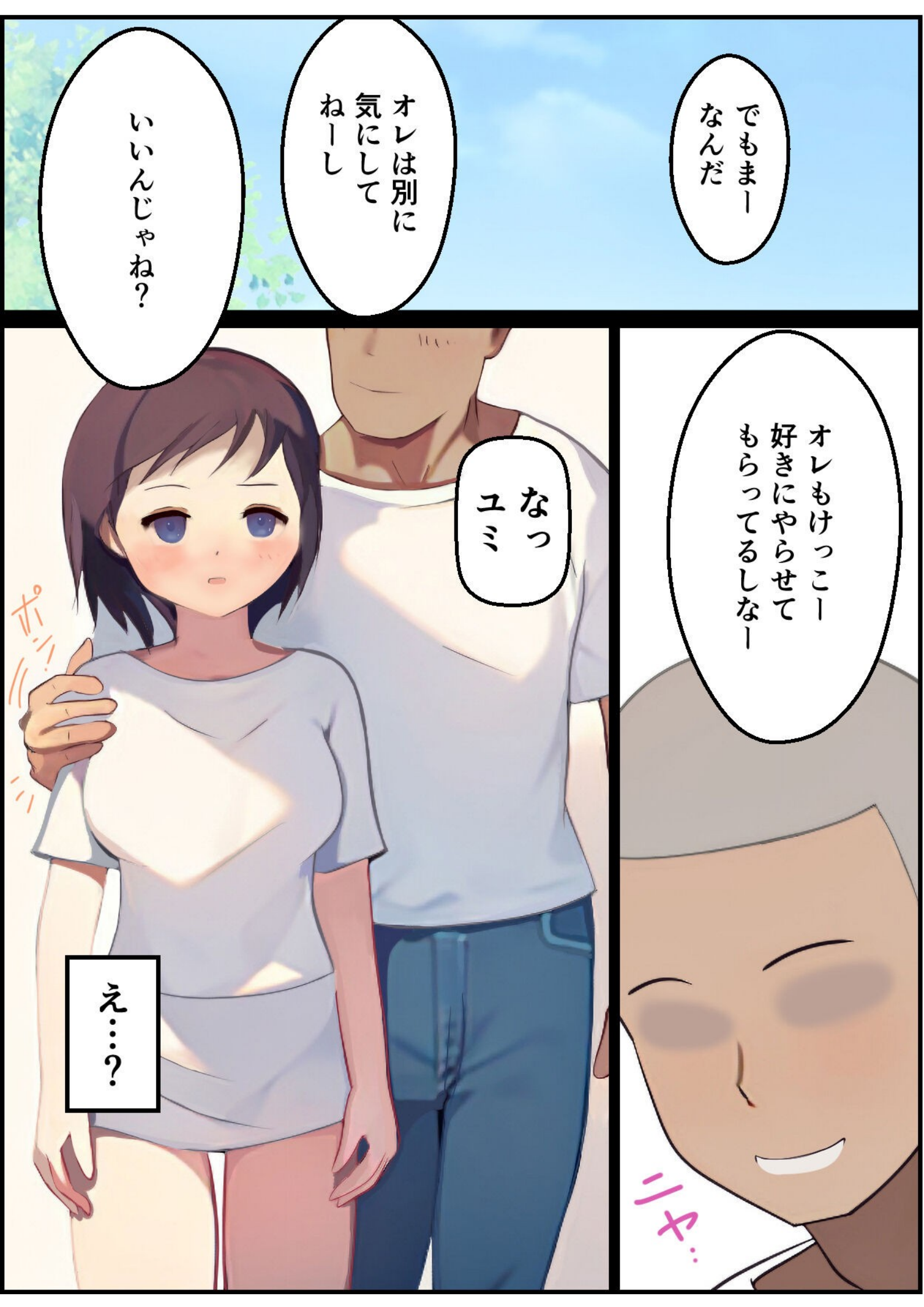
いつの間にか…
ゆーいちくんの
ことは
頭から消えていた

すごくきもちよかった

最近ユミの様子が変だ




よっ二人とも
う、牛込!?
また抜け駆けして二人でイチャイチャか？
妬けるなあオイ
そ、そんなんじゃねーよ
なんか牛込のヤツ…やけに上機嫌だ


でもまーなんだ
オレは別に気にしてねーし
いいんじゃね？
オレもけっこー好きにやらせてもらってるしなー
ニヤ…
なっユミ
ポン
え…？

なんだ?あの
牛込のユミへの
馴れ馴れしい態度

それに対して
ユミの気まずそうな
表情

思えばユミは
ずっと俺に
目を合わせよう
としなかった

まるで
俺に何か引け目を
感じてるかのように

まさか…

いや、そんなことは…

俺の中で
まだユミは
一緒に遊んだ
子供の頃のまま

無邪気で
垢抜けなくて
色恋なんか
無縁の女の子

ユミ　そうだよな…？

頼むからお前は
そのままでいてくれ…

もー

牛込くんってば

私たちの事は
内緒のはず
でしょ
プンプン
ゆーいちくんに
バレちゃったかも
しれないじゃない
ムギュ
あはは悪りぃ
悪りぃ
グィ
でも
ゆーいちのヤツ
鈍感だからな
アイツ気付いてねー
んじゃね？w

まさか

オレらがもう
ここまでの
関係になって
いるなんてなw

ハー
ハー
ハー
グッ
トビ
トビ
ちゅぱっ
ちゅぱっ

あの日以来、オレとユミは
ゆーいちに内緒で
何度も密会した

そして…その度に
オレはユミを
ファックした

今ではユミは
自ら積極的に
オレのチンポを
しゃぶってくれる

ゆーいちのヤツ
ユミのこんな姿を見たら
ドン引きするかもな（笑）

ギン
ギン
あーもう
我慢できねーよ
お前が
こんなに
したんだからな
私も…
我慢できない…
はやく…
はー
はー
はー
はー
入れて…
お願い…

コイツはもう
オレの性欲解消専門
オナペットだ
ズンッ
そう急かすなw
この淫乱(笑)
今ずっぽし
入れてやっからw
ああンッ!!

ゆーいち
絶対お前
ユミのこと
好きだったよな？
いつも
ユミと二人で
楽しそうに
喋ってさあ
内心けっこー
焦ってたよ
お前に先を越されない
かってな

オレは今…
同年代の男子
みんなが妄想する
憧れの青春

かわいい女の子と
毎日イチャイチャ
スケベしまくり
夢のような
セックスまみれの
夏休みを満喫してるッ！

この
優越感…！
たまんねえっ

うらやましいだろ
ざまーみろ
ゆーいちっ！

オメーの好きだった
ユミはいまオレの前で
おっぱいさらけ出して
あえぎまくってるよ！
うんっ
はっ
はっ
はっ
はっ
（きっ…きもちいい…）！
うんっ
あんっ
あんっ

そうだ
わたし
はっ
はっ
はっ
あっ
ギシ
ギシ
ユッサ
ユッサ
セックスが
好きなんだ
パコ
パコ
パコ

あん
ズボッ
ズボッ
あん
あん
ごめんね
ゆーいちくん
ずっちゃ
ずっちゃ
ずっちゃ
ずっ
本当は君に
こういうこと
させてあげ
たかったけど

私…もう
牛込君のオンナに
なっちゃったから…

あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
ああっ
ブルッ
ブルッ
ブルッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
イクっ
イクっ
イク〜〜〜〜〜〜ッ！

オレのこと好きか…？
ユミ
うん
大好き
愛してる牛込くん
とっても気持ちよかった

もう…
昔みたいな
関係にもどれない…ね

ゆーいちくん

偶然、アイツのＳＮＳのアカウントを見つけた

そこに載っている写真を見て
俺はすべてを察したのだった

Fin